

R-CHEP療法を受ける @PATIENTNAME 様の入院診療計画書

年月日	入院経過	リツキサン投与日	CHEP 1日目	CHEP 2日目～5日目	CHEP 6日目～退院前日	退院日
	入院日					
達成目標	治療について理解でき、精神的に安定した状態で治療に望むことができる	治療を安全・安楽に受けることができる	治療を安全・安楽に受けることができる	感染予防の必要性を理解し、感染予防行動を取ることができる	退院後の日常生活の注意点を理解することができる	
注射	<p>10:00 アレルギーの症状を抑える注射（ポラミン）を行います</p> <p>10:00 リツキサンの投与を開始します（4時間ほどかかります）</p> <ul style="list-style-type: none"> リツキサンの点滴は副作用が出やすいので開始時はゆっくり点滴し徐々に点滴速度を速くします（初回は特に慎重に行います） 強い副作用が出た場合は投与を中止したり、速度を遅くします 機械（輸液ポンプ）を使って点滴速度を正確に調節します <p>（例）最初の1時間 25ml/時間 次の1時間 100ml/時間 その次の1時間～ 200ml/時間</p> <p>副作用が少なかった場合には 最初の1時間 100ml/時間 それ以降 200ml/時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 初回投与中は心電図モニターをつけます（終了時に問題なければ外します） 初回時に強い副作用がなかった方は次回より点滴速度を速めます 副作用を早期に発見するために、体温・脈拍・血圧・血中酸素濃度を1時間毎に測定します 副作用予防のために1～3本の点滴を行います 点滴が終了するタイミングは患者さんによって異なります 	<p>9時～10時の間に点滴を開始します</p> <p>10:00～10:30 ドキソルピシン</p> <p>10:30～12:00 ペプシド</p> <p>12:00～15:00 エンドキサン</p> <ul style="list-style-type: none"> 副作用予防のための点滴を1～3本行います <p>点滴終了のタイミングは患者さんによって異なります。</p>	<p>フィルグラスチム（白血球の増加を促す薬）の皮下注射を夕方に行います（血液検査の結果を見て開始し、回復するまで行います）</p>	<p>退院おめでとうございます!!</p>		
内服	薬剤管理の指導をいたします	<p>9:30に解熱剤（コカール 2錠）を内服します</p> <ul style="list-style-type: none"> 副作用予防のため、胃薬と尿酸を下げる薬をしばらく内服します 感染予防のお薬を内服して貰うことがあります 	<p>プレドニンの内服を5日間行います（朝：12錠 昼：8錠）</p>		<p>○退院後の治療計画 次回受診日 血液内科</p> <p>月 日 曜日 時 分 医師</p>	
検査・処置 リハビリ等	レントゲン撮影・心電図検査があります	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査は適宜行います 体重測定を朝夕の2回行います 体重が大きく増えている場合には利尿剤を使います（ ）kg以上 			<p>○再入院日 月 日 曜日</p> <p>○退院後の療養上の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> お薬は忘れずに用法用量を守って内服して下さい 感染予防に努めて下さい 38.0℃以上の発熱が2日以上続く場合は受診して下さい <p>※化学療法を受けられる患者様へのパンフレットを参照して下さい</p>	
食事 安静度 清潔・排泄	<p>常食 院内歩行 入浴可</p> <p>栄養状況に基づき、栄養士が必要に応じて栄養管理の指導をさせていただきます</p>	<p>常食 いつもより多目に水分摂取するように心掛けて下さい</p> <p>院内歩行（点滴中はできるだけベッド上で安静にして下さい）入浴可</p>		<p>常食 院内歩行（病室を出る際はマスクを）入浴可</p>		
教育 指導 説明	<p>化学療法についての説明を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 点滴中は、できるだけベッド上で安静にして点滴の入っている腕はできるだけまっすぐに伸ばしておきましょう 点滴の落ち方が悪くなったり、点滴の入っている所に腫れや痛み・違和感を感じたらすぐにスタッフに知らせて下さい 腎臓の機能が悪くなり、尿の量が減ることがあります そのような副作用を防ぐためにしっかり点滴してたくさん尿を出すようにします リツキサンはアレルギー反応を起こすことが多い薬です 発熱や痒み、まれに血圧低下・呼吸苦が出ます 予防のためにポラミンというお薬を使用しますが、眠気が出ることがあるので注意して下さい ※ 体の異常に気づいたらすぐにお知らせ下さい。 				

この入院計画は現時点で予想されるものであり、症状に応じて変更になる場合があります

大阪医科大学附属病院 血液内科

説明日 / /

看護師長

その他医療従事者

説明を受けた患者様もしくはご家族様のサイン

主治医 印

担当看護師

薬剤師: 栄養士:

(続柄:)